

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援 ひーろんぐ本郷三丁目		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所だけでなく、日常生活でも発揮できる能力が培われている。	「不自由さ」を排除するのではなく、意図的に残すことで「助けて」を言う練習を実施している。	声掛けの内容やタイミングまで、職員間で統一を図り、できるだけ外と同じ環境設定ができるよう配慮する。
2	異年齢がかかわっていること。 他者との関わりを実践形式で体験できること。	小集団での療育を実施しており、年齢関係なくかわる時間を設けている。 また、個別での時間も確保しているため、個別と小集団が確保出来ている。	集団での交流に加えて、会話を増やしていく。 「貸して」「ありがとう」のラリーが続くように、見守りと関わりをもっていく。
3	送迎により、保護者さまの負担を大幅軽減できていること。	基本的に全員送迎を実施。 ご自宅や保育園、小学校など柔軟に変更している。	引き続き送迎体制を確保していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さまとの共有事項の少なさ。	送迎でお会いする以外に時間の確保が出来ていない。	年2回の保護者会開催。 四半期に1回は定期面談を実施し、教室での活動内容を共有する場を設けていく。
2			
3			